

令和5年度 学校関係者評価会議結果

I. 令和5年度 学校関係者評価会議

1. 日時 令和6年3月13日(水) 15:00~16:00
2. 場所 長島愛生園総合診療棟 中会議室
3. 出席者

1) 学校関係者評価会議評価委員4名

所属	種別	任期
国立療養所長島愛生園看護師長	園内講師	2023.4.1 ~2025.3.31
国立療養所長島愛生園副看護師長	卒業生6期生	2023.4.1 ~2025.3.31
国立療養所長島愛生園副看護師長	卒業生14期生	2023.4.1 ~2025.3.31
瀬戸内市教育委員会教育委員、 元中学校校長、元特任教授	外部講師	2023.4.1 ~2025.3.31

2) 学校関係者6名

- 長島愛生園附属看護学校 学校長
- 長島愛生園附属看護学校 事務長
- 長島愛生園附属看護学校 教育主事
- 長島愛生園附属看護学校 実習調整者
- 長島愛生園附属看護学校 教官(1年生担任)
- 長島愛生園附属看護学校 教官(2年生担任)

4. 評価内容

令和5年度 学校の教育活動および学校運営に対する実施状況

5. 評価資料

1) 書類審査

(1) 教育活動に関する事項

- ①各年度の教育計画に関する事項(学校概況書、学則・細則、学生便覧、シラバス)
- ②学生の学習支援に関する事項(各学年年間計画、国家試験対策)

2) 学校運営に関する事項

- (1) 自己点検・自己評価の結果(令和5年度自己評価、自己点検結果)
- (2) 学生カリキュラム評価(令和5年度卒業生・1年生)

II. 学校関係者評価会議評価委員による主な意見、課題

1) 教育活動に関する事項

(1) 各年度の教育計画に関する事項(学校概況書、学則・細則、学生便覧、シラバス)

全体的によく整えられていることから、これらに基づいて円滑に学校経営・学校運営を行うことができると思う。

学校概況書をみると、2023年4月1日発行であるため、VI.研究活動・研修参加状況は、昨年度のものであるため、令和5年度のものが見えると良いと思う。

(2) 学生の学習支援に関する事項（各学年年間計画、国家試験対策、技術演習）

各学年共に、多様な背景をもつ学生たちを念頭に置いて、また、個に応じた小規模校の強みを生かした丁寧な学年運営・教育活動がなされている。

2) 学校運営に関する事項

(1) 自己評価・自己点検結果について（令和5年度自己評価・自己点検の結果）

昨年に比べて上がった項目の「Ⅷ. 研究」について、評価が2から3に上がっている。この結果から、研究、研修の充実は望ましいことである。

下がったカテゴリーのⅣ.経営・管理過程について、まず、組織体制のなかで、教育理念、目的を達成するための権限や役割機能、意思決定のシステムについて低下している。今後は、成員の状況に合わせ、明確に指示や提示をしていくこと、システムとして成員の意見の意図や根拠を踏まえた決定ができるよう取り組んでいくことが課題である。次に、施設の整備について低下している。これについては、老朽化しているなかでも、看護の専門職教育に必要な施設整備を、また、学生が生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるよう今後も計画的に取り組んでいくことが課題である。最後に、養成所に関する情報提供について低下している。今後は、情報提供するタイミングや内容を調整し、保護者・関係者から協力・支援が得られるようしていくことが必要である。

(2) 1年生のカリキュラム評価（令和5年度1年次カリキュラム評価結果）

最も低かった、項目8「専門的な技術が見につく」については、低かった理由は、「身につくには授業時間以外の時間が必要だと思う」「まだ、身につけていないため、不安を感じる」であった。授業で習ったことをタイムリーに自己練習できるように働きかけたり、技術練習できるよう時間や環境を調整し、技術が習得できるようにしていくことが課題である。

(3) 卒業生カリキュラム評価（令和5年度卒業生カリキュラム評価結果）

卒業生のカリキュラム満足度をみると、1年次のものと比べて高くなっている。横断的に満足度が上げていることは望ましいことだと思う。

卒業生のカリキュラム評価の「項目6.分かりやすい授業が多い」は、評価平均値が2.8と全ての項目で最も低い評価である。その原因は、「教科書を読むだけの授業があった」という学生達の自由記述に示されている。授業者はこのことを謙虚に受け止め、授業改善に取り組まなければならない。

【取り組む課題】

- 1) 研究活動や研修参加を継続して行い、教育の質の向上できるように努める。
- 2) 成員が各々の役割が果たせ、成員の意見の意図や根拠を踏まえた決定ができるような組織づくりに努める。
- 3) 教育・学習活動に関する情報提供は、保護者・関係者から協力・支援が得られるようにタイミングや内容を検討、調整していく。
- 4) 学生に専門的な技術が見につくように、タイムリーに技術練習できるよう時間や環境を調整していく。
- 5) 学生にとって、分かりやすい授業となるよう授業方法の工夫や改善に取り組む。